

新・東中とんぼ通信

発行 横浜市立若葉台東中学校 編集責任 鈴木 徹

イラスト こみね さおり



第29号

創作系クラス…わかば6・7・8組

(担当者、高田・岡山・寺田・飯田・長島)

「海の教室」学習風景その3

創作系クラスは、おそらく学習内容が、一番バラエティーに富んでいたと思われます。海の環境を、それぞれの人が、思い思いに活用して学習に取り組んでいました。一つひとつの学習の詳細な報告は「わかばアカデミア」に任せるとして、今回は、その中からいくつかの学習を紹介したいと思います。さすがに経験の積み重ねからの工夫もあり、おもしろい作品が多くなったように思いました。暑さの中にも海風にはほのかな秋の気配も感じられ、夏休みの最後を実感させられた1日でもありました。そんな中での制作風景を、どうぞご覧下さい。

まずは「砂の彫刻」から、この学習は、文字通り大量の砂と水を必要とするので、砂浜で行うには打ってつけの学習といえましょう。なかなかの大作で、制作者の努力が感じられます。いかがでしょうか。



撮影 岡山陽子先生



「スケッチ・写生」のグループです。海の風景は、当たり前ですが海へ行かなければ描けません。空と海の青さを満喫できたでしょうか。林に囲まれた若葉台とは違った陽光のまばゆさと景色の広がり表現できるといいですね。



「工芸作品」について

さすがに、3年目ともなると工夫やアイデアにあふれた作品も目に付くようになりました。ビーチコーミングで集めた素材や海砂などを巧みに活用した作品が増えました。学習の積み上げが大切であることが実証されたわけです。

8組担任・岡山陽子先生より 創作系「砂の造形」クラスは、2つのグループに分かれて作品を作りました。ピラミッドとスフィンクスを作ったグループは、初日から大きな穴を掘って砂の山を作り、2日目には見事な“海に見えるエジプトの風景”を作り上げました。もう1つのグループも、2・3年生で協力し、浜辺で拾った貝などで飾り付けをした“ケーキのお城”と満面の笑みで写真を撮ることができました。